

現役世代が見せる! 守る! 青色防犯パトロール

福崎町商工会 (会長: 谷口守男氏、ひょうご地域安全まちづくり
推進協議会会員 (兵庫県商工会連合会) 傘下団体)



「自分たちのまちは自分たちで守る」若い世代の行動力で、まち全体の機運を高める

福崎町商工会は、地域商工業の繁栄への拠点として、国や県、町の補助を受け、地域内の小規模事業所が日常の企業活動のなかで直面する各種問題について相談指導等を行っている。



平成23年4月、「自分たちのまちは自分たちで守る」という防犯意識のもと、神崎郡内商工会で青色防犯パトロールを開始、同年7月に警察庁による「現役世代の参加促進を図る環境づくり支援事業」の実施団体に福崎町商工会が兵庫県で唯一指定され、40歳代以下の部員で構成される青年部による夜間帯の防犯パトロールが開始された。

警察庁から貸与されたベストを着用し、月に1回、青年部員が地区毎に3グループに分かれ、徒歩によるパトロールと青色防犯パトロールにより、犯罪の予防、青少年の非行防止、地域住民への啓発等を目的に、福崎町全域を巡回している。

また、日中は商工会職員が通常勤務を兼ね、青色回転灯を回転させてパトロール車で町内を走行する。

高齢化や後継者不足の問題を抱える地域が多い中、住民に力強さと安心感を与える青年部の活動は「もちむぎ」と並び、福崎町特産といえるのでは。

今後ますますの活躍と、他の地域でも現役世代の活動が広がっていくことを期待したい。



ひろげよう地域安全まちづくり

マモリンレポート



「点(人、団体)を線で むすぶ活動」により 子どものセーフティネットを 創出

～ 小野東小学校区子ども見守り隊(小野市)～



ひょうご地域安全 SOSキャッチ電話相談

平成25年7月1日開設



日常生活の中で、地域の安全・安心にかかる異変に気づいたら、お気軽に「SOSキャッチ電話相談」に通報・相談してください

身近な異変に
気づいたら...

通報先に
迷ったら...

078-341-1324

いざッホー (月～金 9:00～16:00)
※電話相談のみ
祝日・12/29～1/3除く

専門機関や警察などに迅速・適切につなぎ、早期の対応を図ります

兵庫県・兵庫県警察

一回防犯が宅

「青色防犯パトロール」は、県内各地で行われています。広範囲に活動ができ、徒歩での見守り活動等と組み合わせることで、さらに効果を発揮することも。これまでのマモリンレポートでも活動団体を掲載しています。詳しくは、協議会ホームページをチェック!



いつまでも 住み続けたいまちづくり

～ 星和台連合自治会(神戸市北区)～



発行: ひょうご地域安全まちづくり推進協議会事務局

〒650-8567

神戸市中央区下山手通5-10-1 兵庫県地域安全課内

電話・FAX: 078-362-1071

e-mail: hyogo@bouhan-suishin.gr.jp

URL: http://hyogo.bouhan-suishin.gr.jp

ひょうご地域安全まちづくり推進協議会とは

犯罪の防止その他安全で快適な暮らしを目指すための県民運動を推進し、犯罪のない安全で安心な兵庫県を実現するため、地域団体をはじめ、事業者や行政機関等で構成された協議会です。

このマモリンレポートは、当協議会の会員である兵庫県遊技業協同組合の支援を得て作成しました。



マモリンレポートとは

- マモリンレポートでは、県民のみなさんによる地域安全まちづくり活動の参考となるよう、まちづくり防犯グループ等の特徴的な取組を紹介します。
- 「マモリン」とは、ひょうご地域安全まちづくり推進協議会のシンボルキャラクターです。





「点(人、団体)を線でむすぶ活動」により 子どものセーフティネットを創出 ～ 小野東小学校区子ども見守り隊(小野市)～

トレードマークのたすきが安全・安心の目印

小野市立小野東小学校の下校時には、揃いのタスキを掛けた隊員たちが通学路に立ち、見守り活動を展開している。

「子ども見守り隊」と書かれたタスキは、隊員たちへ感謝の気持ちを込め、小野東小学校PTAから贈られたもの。一目見て見守り隊とわかるので、子どもたちは安心感を持ち、見せる活動で犯罪の抑止効果も期待出来る。



子どもと隊員は、挨拶はもちろんのこと、「今日は寒いね」「学校楽しかったよ」等と話しながら一緒に歩く姿が多く見られる。また校区が広く、地区によって状況も様々であるが、たとえ子どもが一人でも「見守り活動を通じて子どもたちから元気をもたらしている」と終始にこやかに活動する隊員たちの様子には、子どもへの愛情や担当地区の責任感を感じさせる。



このグループの、
ここがポイント!!
見守り活動が
地域の結びつきを
もたらす

小野市の青色防犯パトロール車や小学校、PTA等との連携



学期毎に年3回、小野東小学校に関係団体が集まり見守り隊連絡会議を開催し、子どもの登下校の様子や地域の危険箇所等、情報交換や問題解決を図る。

会議の中では防犯灯やカーブミラーの設置要望等についても意見がなされ、新規設置にも貢献している。

また、小野市が行う安全安心パトロール(青色防犯パトロール車)やPTA等と協働し、隊員だけではカバー出来ない危険箇所の見守りを連携して行っている。



代表 吉川 慶二さんの声



見守り活動をするときには、子どもとコミュニケーションを図るように心がけ、活動する場所についても死角がないように隊員の配置を考えるなど、工夫しながら活動を展開しています。

今回、ひょうご地域安全まちづくり活動賞を受賞したことは隊員皆の励みになったので、今後も気持ちを引き締めて、活動を続けていきたいと思ひます。

グループの紹介 小野東小学校区子ども見守り隊

小野東小学校区子ども見守り隊は、平成21年に子どもの見守り活動を推進するため、小学校区内の6自治会の老人会から結成し、現在99名の隊員が活動を行っている。

小学校、PTA、小野市等、関係機関と連携した活動を展開し、小学生からお礼の手紙を贈られる等、地区全体で良好な関係を築いている。

平成25年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。



いつまでも 住み続けたいまちづくり ～ 星和台連合自治会(神戸市北区)～

人の手が行き届いた環境づくりで、犯罪を寄せ付けない

平成14年に空き巣が多発したことから、スピーカー付軽トラックで空き巣追放パトロールをスタート。平成19年には青色防犯パトロール車として登録し、現在は自治会で要員を決め、1～2時間かけて、防犯を呼びかけるアナウンスを流しながら地区内をくまなくパトロールしている。また、ボランティア個人所有の青パト9台は、日時を定めず個人の空いた時間にパトロールすることで、さまざまな時間に警戒を行って



おり、下校時の子どもの見守り活動は、連合自治会を含む地区内の8団体と連携して行っている。

まちを歩けば随所に「空き巣追放」の立て看板や自治会毎に作成された同プレートが見られ、きれいに清掃された道などからも人の手が行き届き、防犯意識の高さが窺える地域である。

小学生とまち歩きをして、地域安全マップを作成

防災福祉コミュニティが中心となって以前に作成した防災マップに、人身事故の多い場所、見通しが悪い場所など、地元の小学生とまち歩きをして気付いたポイントを加え、平成24年に地域安全マップとして改訂し、活用されている。



このグループの、
ここがポイント!!
目で見てわかる
防犯意識の高さ

会長 長谷 喜仁さんの声



星和台地区が出来て約40年、住民にとって「ふるさと意識」も出来て来たのではないかと思います。

多くの住民に防犯活動に参加してもらうことによって、地区全体の防犯意識が高まります。今後もこの活動に励んでいきたいです。

グループの紹介 星和台連合自治会

星和台連合自治会は11の自治会から成り、安全委員会が中心となって各種防犯活動を推進している。

同連合自治会は神戸市から地縁団体として認可され、活動拠点である星和台ファミリーホールや青色防犯パトロール車(軽トラック)は、連合自治会として所有。毎月発行される機関誌「いぶき」は、事業報告から地域のイベントや見守り活動の予定表など、地区の情報が8ページに渡って掲載されている。

平成19年度ひょうご地域安全まちづくり活動賞受賞。

